

令和6年度第2回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

【日時】 令和6年7月30日(火) 9時30分～10時50分

【場所】 加古川市役所北館 4階大会議室

【出席委員】 松田会長、阿部副会長、稲田委員、深川委員、宮井委員、浅野委員、北野委員、山下委員、江指委員、千堂委員、大橋委員(11名)

【会議次第】 1 開会

2 議事

(1) 「教育・保育」の「量の見込み」について

(2) 「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」に対する「確保方策」(R6.7末時点案)について

(3) こども・若者の意見聴取について

(4) (仮称)加古川市こども計画の基本方針について

3 閉会

【配付資料】 資料1: 教育・保育提供区域の設定(案)

資料2: 推計児童数

資料3: 「教育・保育」の「量の見込み」の算出方法について

資料4: 「教育・保育」の「量の見込み」について

資料5: 「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」の算出方法について

資料6: 「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みに対する確保方策(R6.7末時点案)

資料7: こども・若者の意見聴取について

資料8: こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン<概要版(取組ポイント)> (こども家庭庁)

資料9: (仮称)加古川市こども計画の基本方針について

【議事要旨】

1 開会	
2 議事	(1)「教育・保育」の「量の見込み」について 資料1から4により説明 (質問・意見等なし)

(2)「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」に対する「確保方策」(R6.7末時点案)について

資料5から6により説明

委員 保育コンシェルジュ(相談窓口)について、確保方策が1名だが、アンケート調査による利用割合が他の事業と比べても低く、認知度も低いと思われる。保育は申請等制度が複雑な部分があるため、保育コンシェルジュは効果的な窓口だと思うが、例えば各市民センターに人員を配置する等事業を拡大することは検討しないのか。

事務局 引き続き1名体制と考えている。先日保育コンシェルジュによる保育に関する説明会を開催したところ多くの方にご参加いただいた。このような事業も検討しつつ、引き続き認知度向上に努めていく。

(3)こども・若者の意見聴取について

資料7、8により説明

委員 アンケートの分量について、回答に必要な時間が10分程度というのは質問が多いように感じる。小学校低学年に対しては、質問を少なくした方が、より多くの回答が得られるのではないのか。

委員 全く同意見で、子どもたちにとって回答に10分かかる質問というのは、想像以上にハードだと思う。質問を吟味して、回答を得られるようにしていただきたい。

事務局 資料7①小学生・中学生に対してのアンケートについて、小学校3年生までは保護者と一緒に回答いただくことを想定している。質問を考える際に10分というのは長いのではとの議論もあったが、今回はこのような形式で実施することとなった。

委員 今から分量を削るとするのは難しいのか。

事務局 関係各所とも調整済みであるため、変更は難しい段階です。

委員 小学校を通して依頼すると子どもたちは義務的に回答することになるが、繰り返し実施することで子どもたちも回答することに慣れてくるとと思われる。1回の質問数を多くするのではなく、回数を分けてアンケートを実施した方が、より子どもたちも取り組みやすいのではないのか。

事務局 市としてもこのような形式のアンケートは初めての試みであり、こども計画だけではなく、教育委員会にて策定予定の教育振興計画及び企画広報課にて策定予定の総合計画においても、子どもの意見を取り入れることを検討しているため、質問数が増えている。子どもたちに依頼するアンケートについて、複数回依頼するよりは、設問数が増えたとしても、1回の方が良いだろうと今回の形式で実施することとした。今回ご意見をお伺いして、子どもたちの回答状況も鑑み、今後の実施方法については検討していきたい。

委員 このアンケートはどのような形式で行うのか。小学生3年生までは保護者と一緒にとのことだが、配布物として学校から子どもに配られて家庭で行うのか、それとも学校で行うのか。

事務局	<p>学校によって対応が異なる部分もあると考えているが、小学校1年生から3年生までは、子どもがチラシを家庭へ持ち帰って保護者と一緒に回答する形式、小学校4年生以上は、朝の空き時間などにオンライン端末を活用して回答する形式を想定している。</p>
委員	<p>過去に別件ではあるが小学生5、6年生を対象としたアンケートを実施したことがあり、その際は家庭で回答するよう依頼したが、回答率がかなり低かった。アンケート調査をするからには、回答数を集める必要があると思われるため、実施方法を検討し直した方が良い。</p> <p>また、資料7記載どおりの質問をするのであれば、質問が難しく、はたして何年生だと理解できるのかが、かなり疑問である。小学生を対象にするのであれば、もっとかみ砕いた表現が必要である。</p> <p>学校で実施するのであれば、先生方のフォローが入るのだとは思いますが、家庭で行う際に、保護者がどこまで子どもに説明できるのか疑問に思う。</p>
事務局	<p>「こどもには「意見を表明する権利」があることを知っているか」という質問は、国のこども基本法・こども大綱において、重視するようにと示されているものである。市としては、「こどもの権利」を周知していくという命題もあり、難しい言葉だとは思いますが、この言葉をそのまま記載し、周知を促していくという目的も含めている。子どもたちが「こどもの権利」とは何なのかと考えるところから始まっていくことを期待している。</p>
委員	<p>アンケートの実施方法について追加の質問だが、学校ではタブレット端末が配布されているが、家庭で行う場合、タブレット端末を持ち帰ってくるのか、それとも他の媒体で行うのか。</p> <p>アンケート回答について、保護者と一緒に回答することを想定しているとのことだが、家庭によっては保護者の状況にもよるが、余裕がなく一緒に考える時間が取れない場合もあると思われる。回答率が下がることにも繋がると思われるため、他の方法も検討することを勧めたい。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。検討します。</p>
委員	<p>アンケートという形式で子どもの意見聴取を行うとのことだが、斬新な方法を試みてみることも提案したい。例えばAIを導入して、質疑応答形式のシステムを構築するなど。昨日全国学力・学習状況調査の結果が公表され、長文読解の国語力の低下ということが問題視されている状況である。そのことを踏まえても、やはり子どもに質問をするのであれば、分かりやすい質問をしなければ伝わらないと思うため、工夫が必要である。</p>
委員	<p>意見聴取の形式について、アンケート以外にも、対面でミーティング形式であれば子どもたちの生の声を聞くことができる。オンラインでのミーティング形式も可能だと思うので、アンケートのみではなく、そちらも活用してはどうか。</p> <p>保護者と一緒に回答する形式だと、本当に子どもの意見を抽出できているのかという部分に疑問が残る。</p>
事務局	<p>市としても、子どもの意見聴取の方法について難しいと感じているため、ご提案いただきありがたい。</p> <p>全庁的に取り組む課題のため、関係部局と連携して、今後も検討していく。</p>

委員	<p>全小中学生にアンケートの回答を依頼することで、一部の声だけでなく満遍なく意見を集めようとしていると思うが、やはり対面で意見を聞くことも重要だと考える。ミーティングを行うことで、臨場感をもって話し合いに参加し、周りの意見に耳を傾ける機会にもなる。</p> <p>また、加古川市は南北・東西に広がっている自治体であり、地域差が大きい市だと思っている。そうした中で、子どもたちの認識の差について、話し合いの場で引き出すことも意義があると思う。兵庫大学で意見聴取を行うようだが、その他のエリアでも、意見に違いがあるのか、エリアごとに意見聴取を実施するのはどうか。</p>
事務局	<p>資料7①小学生・中学生に対するアンケート調査については、居住地を訪ねる予定である。</p> <p>確かに子どもたちがお互いの意見を聞くことも重要なため、今後の実施方法についてミーティング形式も検討していく必要があると感じている。</p>
委員	<p>高校生を対象とした意見聴取が挙げられていないが、実施予定はないのか。また、幼児から意見を聞くことも可能性の一つとして検討していただけたらと思う。園児であれば何かしらの意見は発信できるため、小さい頃から自分の意見を聞いてもらったという経験は将来の役に立つと思われる。</p>
事務局	<p>高校生については、市も必要性を感じている。具体的な方法は検討中だが、意見を聞く方向で調整を進めているところである。</p> <p>幼児についても、今後検討していく。</p>
委員	<p>子育てプラザでは、高校生との繋がりもあるため、意見聴取へ協力できていると思う。</p> <p>また、アンケートは意見聴取して完了するものではなく、結果を踏まえて今後どのように対応していくのかを十分に検討していただきたい。</p>
事務局	<p>意見聴取後のフィードバックについては国も指針を示しており、市も重要だと認識している。市として全庁でアンケート結果を共有し、フィードバック方法についても検討していく。</p>
委員	<p>幼児への意見聴取だが、4、5歳児であれば子どもたち同士話し合いで解決を行っていることもあり、意見聴取は可能と思われる。意見を引き出すファシリテーターは必要だが、何かしら子どもたちなりに意見はあるはずなので、対面で話を引き出してみるのも一つの方法だと思う。</p>
事務局	<p>市としても初めての試みで検討中のものもあるが、実際に意見聴取を行う際には学校園のご協力が必要だと考えているので、申し出をいただきありがたい。</p> <p>(4))(仮称)加古川市こども計画の基本方針について 資料9により説明</p> <p>(質問・意見等なし)</p>
3 閉会	